

2019年度事業計画書（案）

（2019年4月1日から2020年3月31日まで）

2019年度事業計画

2019年度収支予算

一般財団法人油脂工業会館

（2019年3月22日 理事会提出）

2019年度 事業計画

(2019年4月1日～2020年3月31日)

当一般財団法人は、油脂工業に関する調査研究の助成、技術・経営の向上に寄与する優秀論文の表彰等を行うことにより、油脂工業の健全な発展を図り、我が国の国民生活の向上に貢献することを目的に活動を行う。

公益法人制度改革への対応については、公益目的支出計画に基づき公益事業を継続して実施するとともに、内閣府への適正な報告を実施するものとする。

I. 会議計画

1. 定時理事会・評議員会

- (1) 2019年5月29日 : 定時理事会
 - 平成30年度事業報告及び決算報告書の承認の件
- (2) 2019年6月 : 定時評議員会
 - 平成30年度事業報告及び決算報告書の承認の件
- (3) 2020年3月 : 定時理事会
 - 2020年度事業計画書(案)及び2020年度予算(案)の審議・承認

2. 審査委員会

- (1) 2019年11月に油脂産業優秀論文の第一次審査委員会を、12月に第二次審査委員会を開催する。
- (2) 2019年12月に油脂技術優秀論文審査委員会及び2020年度研究助成金授与者の審査を行う。

II. 事業計画

1. 油脂工業に関する調査研究への助成(継続) 【定款 第4条第1項関係】

- (1) 公益社団法人日本油化学会(以下日本油化学会という)に対して、学術誌「Journal of Oleo Science」の出版事業を助成する。
また、油化学に関する研究技術奨励のために「Journal of Oleo Science」誌掲載の優秀論文に対する「エディター賞」受賞者及び若手研究者を対象として「ヤングフェロー賞」受賞者に対して研究奨励金を寄附する。

(2) 若手研究者の育成を目的とした研究助成制度の2019年度の助成を4月に実施する。

2020年度分の助成は2019年6月から同8月末迄に申込みを受け付けるものとする。

2. 油脂技術及び油脂産業優秀論文の表彰（継続） 【定款 第4条第2項関係】

(1) 油脂技術優秀論文の表彰は1958年より開始し、本年で第63回目を数える。また油脂産業論文の表彰は1969年より開始し本年で第51回目を迎える。

これらの表彰事業は、油脂業界関係者の深い理解と協力のもと長い歴史を刻んでおり、業界企業の活性化の一助となっていることはもとより、油化学の発展 ならびに 国民生活の向上に大きく貢献している。

2019年度の油脂産業論文は下記の課題テーマで募集する。

- 『SDGsにおける油脂産業の役割』
- 『若者が魅力を感じる油脂産業とは』

上記2課題テーマの他に『自由研究論文』を設定する。

(2) 平成30年度の入賞者及び研究助成金授与者による、第19回「油脂優秀論文賞受賞講演会」は、9月24日に 東京海洋大学 品川キャンパス（東京都港区港南四丁目5番7号）で開催される第58回 日本油化学会年会に合わせて開催予定である。

3. 油脂工業に関する普及及び啓発（継続） 【定款 第4条第3項関係】

日本油化学会との共催事業である「地区講演会」は、青森県弘前市・岐阜県本巣市 奈良県奈良市・高知県高知市の4箇所で開催する。

4. 油脂工業に関する情報の収集及び提供（継続） 【定款 第4条第4項関係】

(1) 1979年にスタートした講演会は、昨年度の2回の開催を加え、第75回目を実施した。

各界の著名人を講師に迎え、その時代に相応しいテーマで、業界関係者だけでなく幅広い方々へ情報を提供している。

本年度も、政治経済・技術・文化の分野から現在のニーズに合ったテーマを選定し春・秋に各1回実施する。

(2) 油脂業界の中堅社員による「研究会」は、今年で19回目となる。

平成30年度は、「油脂産業における未来品質」という研究テーマで4月末の完成を目標に精力的に活動中である。

研究成果は研究報告書として業界関係会社・団体等へ配布し、油脂工業会館のホームページでも公開している。

この研究会は、メンバーの相互啓発・スキルアップにも大いに役立っている。

本年度も新しいテーマで業界各社よりメンバーを募集し実施する。

5. 内外関係機関等との交流及び協力（継続） **【定款 第4条第5項関係】**

日本油化学会が行う油化学及び油脂工業に関する国際交流事業を支援する目的で寄附を行う。

6. 会館の管理運営（継続） **【定款 第4条第6項関係】**

当館は1963年に竣工し、今年で56年目を迎える。

歴代の管理者による耐震補強工事を初めとする丁寧な維持管理により、今後も十分継続して活用できる建物の状況にある。

附属設備である空調設備・給湯機器・給排水設備等の衛生設備・照明設備の経年劣化に対する処置や省エネルギー対策・防災対策についても中長期計画に基づいて着実に実施しており、今年度も継続する。

2019年2月末に、空き1室が発生したが、誘致活動の結果、同年3月1日をもって入居が決定したことから、満室で迎えることが出来る。

Ⅲ. 事務局計画

1. 一般財団法人格維持に対する対応

公益目的支出計画に基づき、平成30年度に実施した項目について内閣府へ届け出るものとする。

以上

収 支 予 算 書 (資金ベース)

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	項番	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部	1				
1. 事業活動収入	2				
①基本財産運用収入	3				
・基本財産賃貸料収入	4				
・基本財産利息収入	5				
②特定資産運用収入	6				
・特定資産利息収入	7	1,090	1,099	△ 9	
③事業収入	8				
・賃貸料収入	9	156,468	154,567	1,901	
・共用費収入	10	23,025	22,910	115	
④寄付金収入	11				
・論文奨励賞基金収入	12	0	0	0	
⑤雑収入	13				
・受取利息収入	14	10	1	9	
・雑収入	15	2,300	2,300	0	会議室料、自販機
⑥他会計からの繰入金収入	16				
・寄附金収入	17	21,000	21,000	0	
事業活動収入計	19	203,893	201,877	2,016	
2. 事業活動支出	20				
①事業費支出	21	136,073	135,638	435	
②管理費支出	22	500	500	0	
③他会計への繰入金支出	23				
・寄附金支出	24	21,000	21,000	0	
④法人税住民税等	26	17,000	16,800	200	
事業活動支出計	27	174,573	173,938	635	
事業活動収支差額	28	29,320	27,939	1,381	
II 投資活動の部	29				
1. 投資活動収入	30				
投資活動収入計	33	0	0	0	
2. 投資活動支出	34				
①特定資産取得支出	35				
・建物改修引当資産取得支出	36	10,000	0	10,000	
・退職給付引当資産取得支出	37	1,221	1,039	182	
・預り敷金引当資産取得支出	38	10,000	0	10,000	
②固定資産取得支出	39	15,120	9,767	5,353	
投資活動支出計	40	36,341	10,806	25,535	
投資活動収支差額	41	△ 36,341	△ 10,806	△ 25,535	
III 財務活動収支の部	42				
財務活動収支差額	43	0	0	0	
IV 予備費支出	44	3,000	3,000	0	
当期収支差額	45	△ 10,021	14,133	△ 24,154	
前期繰越収支差額	46	163,946	140,970	22,976	
次期繰越収支差額	45	153,925	155,103	△ 1,178	

収 支 予 算 書 (損益ベース)
(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

2019年3月22日

(単位:千円)

科 目	項番	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部	1				
1. 経常増減の部	2				
(1) 経常収益	3				
①基本財産運用益	4				
基本財産貸貸料収入	5	0	0	0	
基本財産利息収入	6	0	0	0	
②特定資産運用収入	7				
特定資産利息収入	8	1,090	1,099	△ 9	
③会館運営事業収入	9				
貸貸料収入	10	156,468	154,567	1,901	
共用費収入	11	23,025	22,910	115	
④雑収益	12				
受取利息	13	10	1	9	
雑収入	14	2,300	2,300	0	
(経常収益計)	15	182,893	180,877	2,016	
(2) 経常費用	16				
①実施事業等(公益)事業費	17	21,280	20,879	401	
給与手当	18	2,019	1,986	33	従事割合(10%配賦)
福利厚生費	19	350	337	13	"
退職給付費用	20	122	104	18	"
旅費・宿泊費	21	450	450	0	
式典費	22	2,000	2,000	0	
表彰金	23	3,400	3,400	0	
審査料	24	1,950	1,900	50	
講演費	25	800	800	0	
印刷製本費	26	1,300	1,300	0	
通信費	27	300	200	100	
寄附金	28	800	800	0	
助成金	29	4,000	4,000	0	
共催金	30	1,000	1,000	0	
交際費	31	1,000	800	200	
雑費	32	100	100	0	
会館運営事業費からの費用配賦	33	1,689	1,702	△ 13	使用面積割合(1.5%配賦)
②会館運営事業費	34	131,521	131,828	△ 307	
給与手当	35	17,165	16,878	287	従事割合(85%配賦)
福利厚生費	36	2,975	2,863	112	"
退職給付費用	37	1,038	883	155	"
ビル管理委託費	38	41,160	41,807	△ 647	使用面積割合(98.0%配賦)
保守保全費	39	3,920	4,410	△ 490	"
修繕費	40	7,997	8,461	△ 464	"
光熱水料費	41	8,820	8,820	0	"
備品費	42	1,960	1,960	0	"
消耗品費	43	980	980	0	"
保険料	44	460	469	△ 9	"
租税公課	45	22,638	20,580	2,058	"
印刷製本費	46	49	196	△ 147	"
交通費	47	686	784	△ 98	"
交際費	48	1,470	1,470	0	"
会議費	49	98	98	0	"
通信費	50	196	294	△ 98	"
諸会費	51	490	490	0	"
雑費	52	2,450	2,940	△ 490	"
減価償却費	53	16,969	17,445	△ 476	"
③管理費	54	2,313	2,286	27	
給与手当	55	1,010	993	17	従事割合(5%配賦)
福利厚生費	56	175	168	7	"
退職給付費用	57	61	52	9	"
役員会費	58	500	500	0	
会館運営事業費からの費用配賦	59	567	573	△ 6	使用面積割合(0.5%配賦)
(経常費用計)	60	155,114	154,993	121	
投資有価証券評価損益等	61			0	
当期経常増減額	62	27,779	25,884	1,895	
2. 経常外増減の部	63			0	
(1) 経常外収益	64			0	
経常外収益計	65			0	
(2) 経常外費用	66			0	
経常外費用計	67			0	
(当期経常外増減額)	68	0	0	0	
他会計振替額	69			0	
税引前一般正味財産増減額	70	27,779	25,884	1,895	
法人税・住民税及び事業税	71	17,000	16,800	200	
当期一般正味財産増減額	72	10,779	9,084	1,695	
一般正味財産期首残高	73	494,760	479,623	15,137	
一般正味財産期末残高	74	505,539	488,707	16,832	
II 指定正味財産増減の部	75			0	
論文奨励賞基金収入	76	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	77			0	
指定正味財産期首残高	78	41,500	41,500	0	
指定正味財産期末残高	79	41,500	41,500	0	
III 正味財産期末残高	80	547,039	530,207	16,832	

収支予算書内訳表（損益ベース）

2019年3月22日

（2019年4月1日から2020年3月31日まで）

（単位：千円）

科目	項番	実施事業等会計					その他会計 会館運営事業	法人会計	内部取引消去	合計
		継1(表彰)	継2(助成)	継3(講演)	共通	小計				
I 一般正味財産の部	1									0
1. 経常増減の部	2									0
(1) 経常収益	3									0
①基本財産運用益	4									0
基本財産賃貸料収入	5					0				0
基本財産利息収入	6					0				0
②特定資産運用収入	7					0				0
特定資産利息収入	8	118	131		506	755	335			1,090
③会館運営事業収入	9					0				0
賃貸料収入	10					0	156,468			156,468
共用費収入	11					0	23,025			23,025
④雑収益	12					0				0
受取利息	13				9	9	1			10
雑収入	14					0	2,300			2,300
経常収益計	15	118	131	0	515	764	182,129	0	0	182,893
(2) 経常費用	16									0
①実施事業等（公益）事業費	17	9,410	5,000	2,640	4,230	21,280		0	0	21,280
給与手当	18				2,019	2,019				2,019
福利厚生費	19				350	350				350
退職給付費用	20				122	122				122
旅費・宿泊費	21	350		100		450				450
式典費	22	2,000				2,000				2,000
表彰金	23	3,400				3,400				3,400
審査料	24	1,750	200			1,950				1,950
講演費	25			800		800				800
印刷製本費	26	900		400		1,300				1,300
通信費	27	200		100		300				300
寄附金	28		800			800				800
助成金	29		4,000			4,000				4,000
共催金	30			1,000		1,000				1,000
交際費	31	800		200		1,000				1,000
雑費	32	10		40	50	100				100
会館運営事業費からの配賦	33				1,689	1,689				1,689
②会館運営事業費	34	0	0	0	0	0	131,521	0	0	131,521
給与手当	35					0	17,165			17,165
福利厚生費	36					0	2,975			2,975
退職給付費用	37					0	1,038			1,038
ビル管理委託費	38					0	41,160			41,160
保守保全費	39					0	3,920			3,920
修繕費	40					0	7,997			7,997
光熱水料費	41					0	8,820			8,820
備品費	42					0	1,960			1,960
消耗品費	43					0	980			980
保険料	44					0	460			460
租税公課	45					0	22,638			22,638
印刷製本費	46					0	49			49
交通費	47					0	686			686
交際費	48					0	1,470			1,470
会議費	49					0	98			98
通信費	50					0	196			196
諸会費	51					0	490			490
雑費	52					0	2,450			2,450
減価償却費	53					0	16,969			16,969
③管理費	54	0	0	0	0	0	0	2,313	0	2,313
給与手当	55							1,010		1,010
福利厚生費	56							175		175
退職給付費用	57							61		61
役員会費	58							500		500
会館運営事業費からの配賦	59							567		567
経常費用計	60	9,410	5,000	2,640	4,230	21,280	131,521	2,313	0	155,114
投資有価証券評価損益等	61									0
当期経常増減額	62	△ 9,292	△ 4,869	△ 2,640	△ 3,715	△ 20,516	50,608	△ 2,313	0	27,779
2. 経常外増減の部	63									0
(1) 経常外収益	64									0
経常外収益計	65					0	0	0		0
(2) 経常外費用	66									0
経常外費用計	67			0		0	0	0		0
当期経常外増減額	68	0	0	0	0	0	0	0		0
他会計振替額	69				21,000	21,000	△ 23,313	2,313		0
税引前一般正味財産増減額	70					484	27,295	0		27,779
法人税・住民税及び事業税	71						17,000			17,000
当期一般正味財産増減額	72					484	10,295	0		10,779
一般正味財産期首残高	73						494,760			494,760
一般正味財産期末残高	74					484	505,055	0		505,539
II 指定正味財産増減の部	75									0
論文奨励賞基金収入	76									0
当期指定正味財産増減額	77					0				0
指定正味財産期首残高	78					41,500				41,500
指定正味財産期末残高	79					41,500				41,500
III 正味財産期末残高	80	0	0	0	0	41,984	505,055	0	0	547,039